

# 衆議院外務委員会ニュース

【第 208 回国会】令和 4 年 3 月 4 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

・林外務大臣、鈴木外務副大臣、鬼木防衛副大臣、宗清内閣府大臣政務官、泉田国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）松原仁君（立民）、岡田克也君（立民）、青山大人君（立民）、和田有一朗君（維新）、青柳仁士君（維新）、鈴木敦君（国民）、穀田恵二君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 松原仁君（立民）

#### （1） ウクライナ情勢

ア 駐日ウクライナ大使が林外務大臣との面会を要望してから長期間面会が実現しなかった経緯

イ ウクライナ大使から要望のあった人道的査証発給に関する政府の取組

ウ SWIFT（国際銀行間通信協会）の共同声明に我が国が入っていない理由

エ SWIFTからロシアの金融機関を排除したことが中国の金融機関に与える影響

オ 対ロ制裁の強化により影響を受ける我が国の企業に対する支援及び情報提供の必要性

カ EU及び米国によるロシアの政治指導者に対する個人制裁の状況

キ 我が国がスイスと同様にEUによる対ロ制裁を「援用」することについての林外務大臣の見解

ク 英国及びEUに拠点を有する我が国の金融機関グループに対する政府による指導

ケ 現下においてもロシアとの間で領土問題を解決して平和条約を締結するという基本方針の確認

コ 国際刑事裁判所に参加する 39 国からウクライナ情勢に関する捜査の付託を受け捜査を開始したという報道に対する政府の認識及び我が国が加わらなかった理由

#### （2） マグニツキー法制定の必要性

#### （3） 北朝鮮問題

ア 北朝鮮の核開発、ミサイル発射及び拉致行為が我が国にもたらす危険性についての認識

イ 我が国が米国同様金正恩氏に対して制裁を課す必要性についての林外務大臣の見解

### 岡田克也君（立民）

#### （1） ウクライナからの邦人等の退避

ア ウクライナ在留邦人の国外退避の現状・今後の見通し

イ 在留邦人のウクライナ人配偶者等の国外退避について日本国大使館の協力の必要性

ウ 我が国の退避ウクライナ人受入れのスケジュール、規模及び基準

エ ウクライナ人による難民申請に対し特別の対応をとる必要性

オ 難民申請が認められなかったウクライナ人の在留資格について配慮する必要性

#### （2） アフガニスタン・カブール陥落（2021年8月15日）以降の自衛隊によるアフガニスタン在留邦人等の国外退避オペレーション

ア 日本国大使館及び国際協力機構（JICA）の現地職員等を退避させることができなかったことに対する林外務大臣の見解

イ カブール陥落後、同月20日に外務省が防衛省に自衛隊機の派遣要請を行うまでの間の外務省や内閣官房での議論の内容

ウ オペレーションにおいて他国軍用機の利用を要請するという選択の妥当性に対する林外務大臣の見解

エ 逐次検討するのではなくあらかじめ様々な手段を用意すべきとの所見に対する外務省の見解

- オ カブール陥落から自衛隊機の派遣要請（20日）、派遣（23日）までの間の官邸の機能状況
  - カ 在アルジェリア邦人に対するテロ事件の対応に関する検証委員会検証報告書の中で指摘された「政府全体としての対応に係るマニュアル」の策定状況
  - キ 今回のオペレーションについて政府内で検証組織を設けて検証を行い、結果を公表する必要性
- (3) 我が国への退避を希望する者を更に積極的に受け入れ、日本語教育の機会提供など受入れ体制を整える必要性

#### 青山大人君（立民）

- (1) 駐日ウクライナ大使による林外務大臣との面会要望を鈴木外務副大臣が拒否していたとの報道についての事実関係及び鈴木外務副大臣の見解
- (2) ブダペスト覚書（平成6年12月、米・英・露・ウクライナ調印）
- ア ウクライナが非核兵器国となることと引換えに同国の安全を保証するとしてブダペスト覚書が調印された背景
  - イ 今般のロシアによるウクライナ侵攻とウクライナの核放棄との因果関係
  - ウ 林外務大臣の所信表明で言及された「日米同盟の抑止力の強化」の具体的内容
- (3) ウクライナから多くの避難民が流入しているモルドバに対する迅速な支援の必要性
- (4) 在中国日本国大使館員の拘束事案（令和4年2月21日）の事後経過及び我が国の立場を強く発信する必要性
- (5) ロシアによる北方領土の占拠が国際法違反であることの確認

#### 和田有一朗君（維新）

- (1) ウクライナ情勢
- ア ロシアの軍事行動に対する外務省の分析及び在外公館における情報収集・分析能力向上の取組
  - イ G7各国の情報機関との連携状況
  - ウ ロシアがウクライナに侵攻した理由についての外務省の分析
  - エ 今般のウクライナ情勢が第二次世界大戦前の宥和政策と符合するとの指摘についての林外務大臣の見解
- (2) 在中国日本国大使館員の拘束事案に対し我が国が行った抗議内容、更なる対応及び中国が主張する「身分に適合しない活動」の意味
- (3) 台湾関係
- ア 法的根拠がない日台間の安全保障対話や相互通報の可否
  - イ 日台間でサイバー攻撃に関する取決めや意見交換を行う必要性
  - ウ 日台関係を規定する法律の必要性
  - エ 台湾有事の際の台北情報区域に位置する与那国空港への影響
  - オ 自衛隊の航空機・艦艇の運用や台湾軍の演習への参加要請など台湾との実務レベルの連携の必要性
  - カ 日本台湾交流協会職員と台湾総統や外交部長との面会、台北駐日経済文化代表処職員と我が国の政府関係者との交流の必要性

#### 青柳仁士君（維新）

- (1) 国連安保理のロシア非難決議案を棄権したインドに対する我が国政府の働きかけ
- (2) ベラルーシに対して対ロシア経済制裁と同様の強力な経済制裁を科す必要性
- (3) ウクライナ・ロシア間の対話の機会を設ける又は合意の後押しをするなど我が国が果たしうる役割

- (4) ウクライナ避難民の受入れ方針
- (5) ゼレンスキー大統領（ウクライナ）によるロシアの安保理投票権剥奪要求を踏まえ我が国が先導して国連改革を進める必要性
- (6) グローバル経済との一体性と分離性を保ちつつ外交で成果を上げるスタイルについての林外務大臣の所見

**鈴木敦君（国民）**

- (1) ロシア
  - ア 資源問題
    - a ロシアが共同で行った資源開発プロジェクト（実行中及び実行済）の件数及び出資金額
    - b 「サハリン2」の資源開発事業化の経緯
    - c ロシアからの資源供給が途絶した場合の代替確保等についての政府の取組
    - d 鉱物資源ひっ迫に備えた我が国の取組方針
    - e 対ロ制裁としてロシアと共同で行っている資源プロジェクトからの撤退に関する政府の考え
    - f G7がロシアからのエネルギー及び鉱物資源の輸入禁止措置をとった場合の我が国の対応
  - イ 北方領土返還について「申し上げることは控える」とする岸田総理大臣発言の解除時期
  - ウ ロシア駐留軍地域の拡張に対する林外務大臣の所見
- (2) 現下の状況を踏まえ領海侵犯を繰り返す中国への対応

**穀田恵二君（共産）**

- (1) 国連総会で採択されたロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議に対する林外務大臣の受止め及び国連憲章遵守に向けた非同盟・中立国の姿勢についての林外務大臣の見解
- (2) 対ロ経済制裁等への対抗措置として核兵器の先制使用を示唆するプーチン大統領に対する林外務大臣の所見及び政府として即時撤回を求める必要性
- (3) 日ロ原子力協定
  - ア (2) の状況に加え IAEA のロシア非難を受けて日ロ原子力協定を見直す必要性
  - イ 2014年3月13日参議院外交防衛委員会での岸田外務大臣答弁を踏まえた日ロ原子力協定のあり方についての林外務大臣の見解

- 2 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十四条についての新たな特別の措置に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第1号）
- ・ 林外務大臣から趣旨の説明を聴取しました。